

きゅうり特報 No.5

2025 年 7 月 17 日
JA 中野市園芸課
JA 中野市きゅうり部会

生育観察及び病害虫発生状況の確認を行い、防除間隔が空かない様に定期散布を実施して下さい。

露地作型

【 7 月中下旬 防除 】

散布薬剤	水	100L 当り	月 日 ℓ
	展着剤(アビオン E)	100ml	
	コロマイト乳剤	100ml	
	ミギワ 10 フロアブル	100ml	
散布量	300L/10a		
適用病害虫	ハダニ類、ハモグリバエ類 菌核病、炭そ病、つる枯病、灰色かび病		

【 7 月下旬 防除 】

散布薬剤	水	100L 当り	月 日 ℓ
	展着剤(まくぴか)	30ml	
	コルト顆粒水和剤	25g	
	ジマンダイセン水和剤	166g	
散布量	300L/10a		
適用病害虫	アブラムシ類、コナジラミ類 べと病、黒星病、炭そ病、疫病、褐斑病、つる枯病、斑点細菌病		

- ①「炭そ病」の発生が見られます。発病が見られる場合は発病葉を除去してから定期防除を実施して下さい。
- ②「つる枯れ病」の発生が見られます。発病が見られる場合は発病部を切り取り、「スミレックス水和剤 1,000 倍」を地際部にもかかるように散布して下さい。
- ③「微量要素欠乏症」が見られます。
発生が見られる場合は定期防除に「ボロンセブン 1,000 倍」を加用して下さい。

裏面もご覧下さい

～症状～

- ・マンガン欠乏症：葉脈間が黄化する。(写真 1)
- ・ホウ素欠乏症：果実に輪ゴムで縛られたような凹み。



④昨年に比べて収穫量が多く、「尻太果」や「曲がり果」など成り疲れが見られます。こまめな追肥・土壌灌注を実施して下さい。

- ・曲がり果などの変形果は小さいうちに摘果して養分消費を軽減して下さい。

・追肥資材

「ダブルクイック 660 10kg/10a(1 回)」※通路に散布 写真 1 マンガン欠乏症

・灌注資材

「ハイプログリーン 300 倍」または「新チャンス液 300 倍」を 2 週間間隔で実施して下さい。

ハウス作型

【 7 月下旬 防除 】

散布薬剤	水	100L	月 日 ℓ
	展着剤(まくぴか)	30ml	
	トレボン乳剤	100ml	
	オーソサイド水和剤 80	166g	
散布量	300L/10a		
適用病害虫	アブラムシ類、コナジラミ類 べと病、炭そ病、灰色かび病、菌核病		

①葉が混んで風通しが悪いと「つる枯病」の発生が心配されます。

換気の実施と地際から 20cm の葉を除去して風通し・日当たりを良くして下さい。

②ハダニ類の発生に注意してください。

発生の見られる場合は担当技術員にお問い合わせください。

お問い合わせ先：JA 中野市園芸課(佐藤・松井)

- ・ 佐藤(携帯) 080-6932-1294
- ・ 松井(携帯) 090-6397-1620